

久茂地公民館の

解体業者が決定

5月末までに工事終了

那覇市は8日、久茂地公民館（旧沖縄少年会館）の解体工事を発注する通常型指名競争入札を行い、那覇市内の建設業者が落札した。入札には11社が参加した。2、3日中に契約を行い、2週間程度で解体工事に着手。5月末までに解体を終える予定だ。

同館の解体をめぐるのは、建築家や子ども育成関係者らでつくる住民団体が保存・活用を求め、要望や陳情を重ねていた。

市教育委員会生涯学習課は「耐力度調査結果が厳しく、危険な状態と判断した。解体は妥当だと考えて

いる。今後も行政として粛々と進めたい」とした。

保存・活用を求めている新沖縄子どもを守る会の加藤彰彦会長は、解体が決まったことに「旧少年会館が果たした役割やそれにまつわる思い出は貴重。（解体は）非常に残念だ」と声を落とした。